

中期目標の考え方

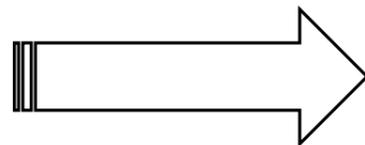
第 1 期中期目標
(平成 25 ~ 28 年度)

◆全体目標

地方独立行政法人制度の特徴
を生かした急性期医療を担う
病院運営

◆主な施策

- ・ 経営基盤の安定化
- ・ 医師・看護師の確保
- ・ 救急受け入れ態勢の強化
- ・ 診療科の充実
- ・ 新病院の建設及び開院



第 2 期中期目標
(平成 29 ~ 32 年度)

◆全体目標

急性期医療を担う地域中核
病院として地域住民に信頼
され共に歩む病院運営

◆主な施策

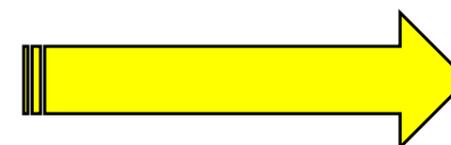
- ・ 産科の再開
- ・ 緊急手術の増加と救急受入の充実
- ・ 医療従事者の充実と人材育成
- ・ 地域包括システムの推進
- ・ 効率、効果的な運営体制の強化

政策的背景

- ・ 地域周産期医療としての産科の再開
- ・ 新病院建設に伴い経費負担増による経営圧迫の懸念
- ・ 地域包括システムの中心施設としての役割

地域社会的背景

- ・ 患者サービスの向上を図る医療者の確保と充実
- ・ 4 疾病を中心とした医療の質向上



第 3 期中期目標
(令和 3 ~ 6 年度)

◆全体目標

地域住民から求められる地域密着
型の急性期病院としての使命を担う
病院運営

◆主な施策

- ・ 周産期医療体制の確立
- ・ 緊急手術の増加
- ・ 総合診療科の充実
- ・ 医療人の育成
- ・ がん放射線治療に対する方向性の明確化
- ・ 医療機関（救急医療含む）の役割に関する市民啓発

政策的背景

- ・ 感染症対策等に伴う経費負担増による経営圧迫の懸念
- ・ 働き方改革法案に沿った医師等の働き方改革の推進
- ・ 地域密着型医療機関として周産期医療に対する役割

地域社会的背景

- ・ 感染症対策をとり、市民が安心して受診できる
- ・ 病院のかかり方（救急含む）に関する市民浸透
- ・ 社会的弱者の何かあったときの拠り所